

■ご挨拶

風力発電協会としての役割

日本風力発電協会 理事 **吉田 悟**
株式会社 北拓 取締役副社長



はじめに

引き続き理事の職を務めさせて頂く事になりました吉田でございます。2007年5月から理事の職を拝命し今年で7年目を迎えております。我が国での風力発電の普及はFIT施行後も伸び悩んでいるのが実情でございますので、当協会の役割もますます重要になると考えており、身の引き締まる思いでございます。

今後は協会活動を通じて風力発電事業を推進して行く上で過剰な規制や不合理なルールが作られない様に皆様と共に活動して行きたいと考えております。また、FITは需要者の方々にご負担頂いている事から、事業の透明性や長期に安定的に運営して行くためのセーフティネットを考えて行く等の取り組みも必要であり、これらの環境を整備して行く事で風力発電事業へのご理解を頂き、より多くの新規参入を促せる事と確信しております。

当社として

風力発電事業を安全に効率よく運営して行くには適切な保守管理が不可欠であります。1名の技術員が適切に保守管理できる風車の数は2MWクラスの陸上風車で3基位であると考えており国内の風車の専属技術員の数は現在でも不足していると思われまます。高いアベイリビティーを保つ為には風車の専属技術員の数を増やさなくてはなりません。

当社は風力発電のメンテナンスの専業会社として今まで培った技術員の教育ノウハウと独自の教育プログラムを更に進化させて人材育成と増員に力を尽くす覚悟でございます。今後は洋上風力発電のマシンのメンテナンスに向け洋上及び水中のメンテナンスの専門業者の方々とコンソーシアムを組んで洋上風車のメンテナンスにも取り組んで行きたいと考えております。

また国内外の部品サプライヤー企業とのアライアンスを強化し、国内での部品調達の上る為の取り組みや、大型ユニットの国内

に於いてのリビルドや、予防的メンテナンスのご提案、そして安全に風車を運転する為の対策

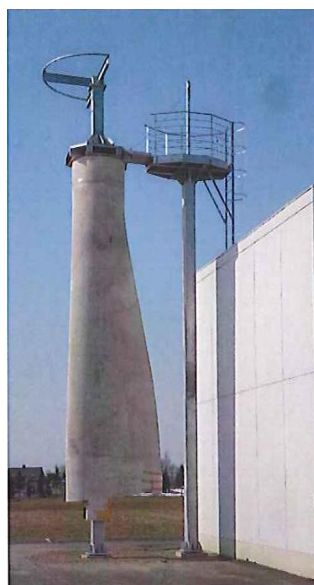
のご提案等をテーマにして活動して参りたいと考えております。

更に風車メンテナンス技術員の更なるスキルアップの為のトレーニング設備を充実させ、教育の速度アップと技術の習得を実践的なトレーニングの中から出来る様にして行きます。

最後に

今後も自社で所有している風車サイトやトレーニング設備を活用し日本にあったメンテナンスを実験し、その結果をお示した上で事業者殿へご提案して行きたいと考えております。会員企業殿の中で実機にて、実験や実証してみたいというご希望があれば何時でもご相談にお答えする体制がございますのでお気軽にご連絡下さい。

微力ではございますが、今後もJWPA活動及び弊社の事業を通じて風力発電業界の発展の為に貢献出来ます様、努力して参る所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。



トレーニングタワー



ロープワーク



ロープワーク



社屋